新製品ニュース欄

關西レンズ界にデビューした
サン印レンズの活躍振り

關西光學レンズ工業株式會社として昨年十二月發足にデビューした伊藤忠次氏は寫眞機の製造と共に日吸レンズの優秀品サン印として發賣する事となつた所、各地販賣方面にも、新しい企業と熱心さは早くも消費の支持者を得て居り將來も期待されて居る。（廣告參照）

昔懷しい
リング印の復活

東京淺草の新興精機製作所では、戰爭の爲製造を中止してゐた日中にキル竹及金屬枠を戰前に劣らず大々的に製造する事になつた。昔懷しいリング印の復活は、品不足の折柄、必ず爲めに大いに期待されてゐる。

齋日東眼鏡が
社名變更

低眼鏡を百餘の日東眼鏡では先般來臨時總會を開催して、一丁目に本社を移轉すると共に社名を日東レンズ工業株式會社と變更すべく大活動を開始した。同社社長伊藤氏は數多の正當な理由を擧げて當局に對し、認可は近いものと確かな筋の參考意見を述べ、認可出願を期待さ居る。尚同社は從來の製品の外に新たに顯微鏡の製作發賣に着手し、既に數臺の顯微鏡を東京光學に於て製作發賣し、一方面より注文殺到の爲め目下鏡石取付け中である。

服部時計店より
玉揖機發賣

東京銀座服部時計店光學部では從來の特殊望遠鏡の外に、新たに雙眼鏡の製作發賣に着手し、既に數臺の雙眼鏡を東京光學に於て製作發賣し、今回更に玉揖機の製作を完成し、近く發賣する事になつて居る。

本社代理部案内

本社は產業界の資材難及供給難を出來る丈け少くする爲めに廣く各村の用品及供給品の斡旋を目的として特に代理部を設置しました。

●精主材料及副材料の賣買交換
●新規事業の相談指導
●光學用レンズ及機器類の設計及試作
●眼鏡、光學界の調査出張

一、眼鏡レンズ生地（白、有色）
二、板硝子（厚十七ミリ）
三、十七ミリ白板硝子
四、セルロイド生地　三ミリ一四ミリ
寶光學製押硝子生地
●以上御希望の納期相談の事

申込所　眼鏡光學社代理部
東京都荒川區町屋一丁目一四番地